

「新しい総合教育計画に関するアンケート」 調査結果概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成22年度を開始年度とする新たな福島県長期総合教育計画の策定に当たり、計画で推進する主要な分野について県民の意識やニーズを調査し、その結果を今後の計画づくりの参考とする。

(2) 調査時期

平成21年3月

(3) 調査対象者

県内在住の満15歳以上の男女 2,000人

(4) 調査対象者抽出方法

県内の人口比（地域別・年齢別）と同様となるよう、県内26市町村から層化2段無作為抽出法により抽出。

(5) 調査方法

郵送調査

(6) 回収率

有効回答1,052件（回収率：52.6%）

2 調査結果

(1) 回答者の構成

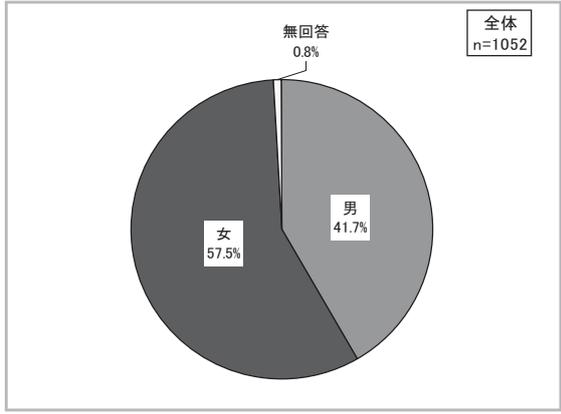
		回答比		人口比				回答比		人口比	
性別	男性	41.7	48.5	居住 地域	市部	75.0	78.9	郡部	20.2	21.1	
	女性	57.5	51.5		県北	24.6	24.5		県中	25.5	27.1
年齢	15~19歳	5.2	6.3	県南	7.1	7.4	会津	12.5	13.1		
	20~24	4.3	5.5	南会津	1.8	1.5	相双	8.0	9.6		
	25~29	5.2	6.0	いわき	15.6	16.9					
	30~34	4.8	7.2								
	35~39	6.0	7.3								
	40~44	6.7	6.8								
	45~49	8.3	7.3								
	50~54	8.9	8.1								
	55~59	10.4	9.5								
	60~64	8.2	7.6								
	65~69	10.1	6.9								
70~	21.6	21.4									

「回答比」：回答に占める割合（%）

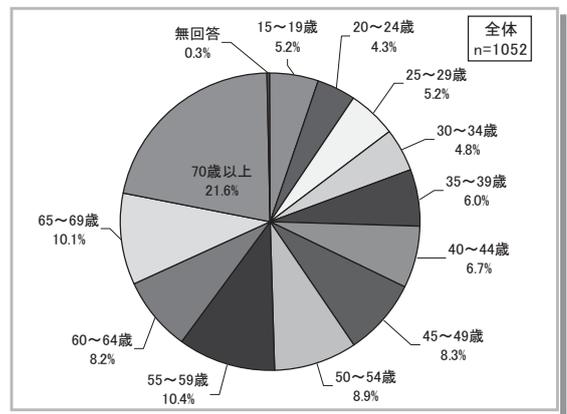
「人口比」：実際の県内の人口比（%）

回答比と人口比を比べても、実際の比率とほぼ同様の結果となっている。また、年代別に見ると、45歳以上の回答が実際の人口比を上回っている。職種も、一部に偏ることなく、バランスよく分布している。

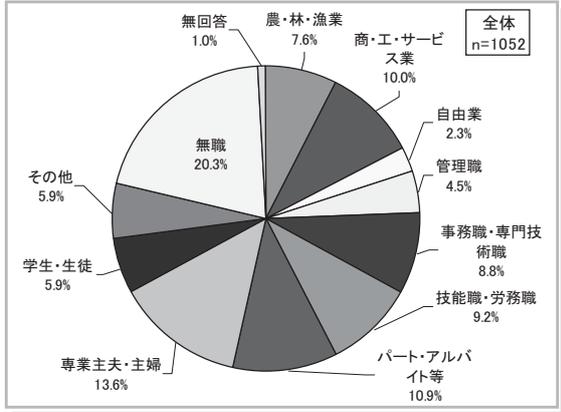
(ア) 性別



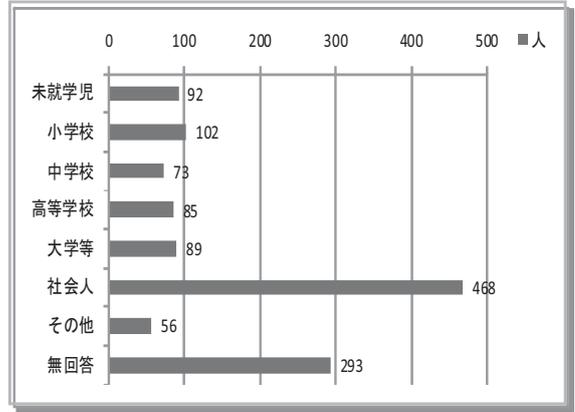
(イ) 年齢



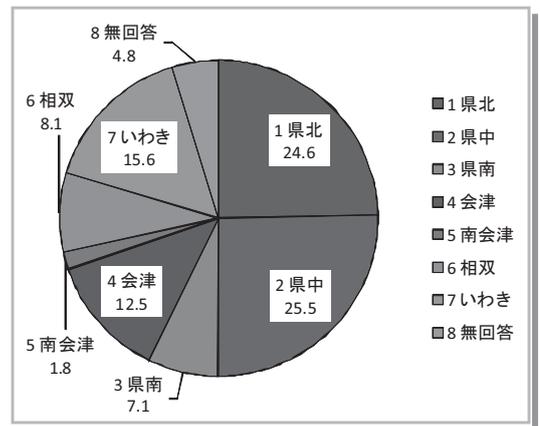
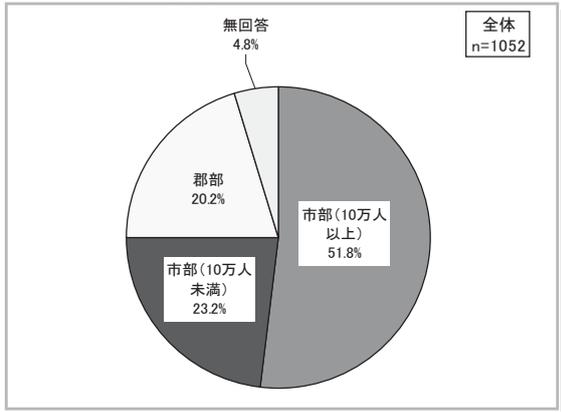
(ウ) 職業



(エ) 子どもがいる場合の学校種等

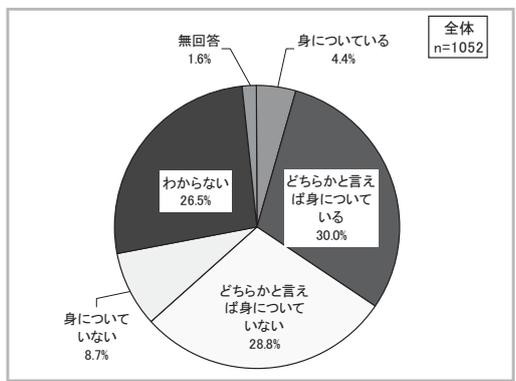


(オ) 居住地



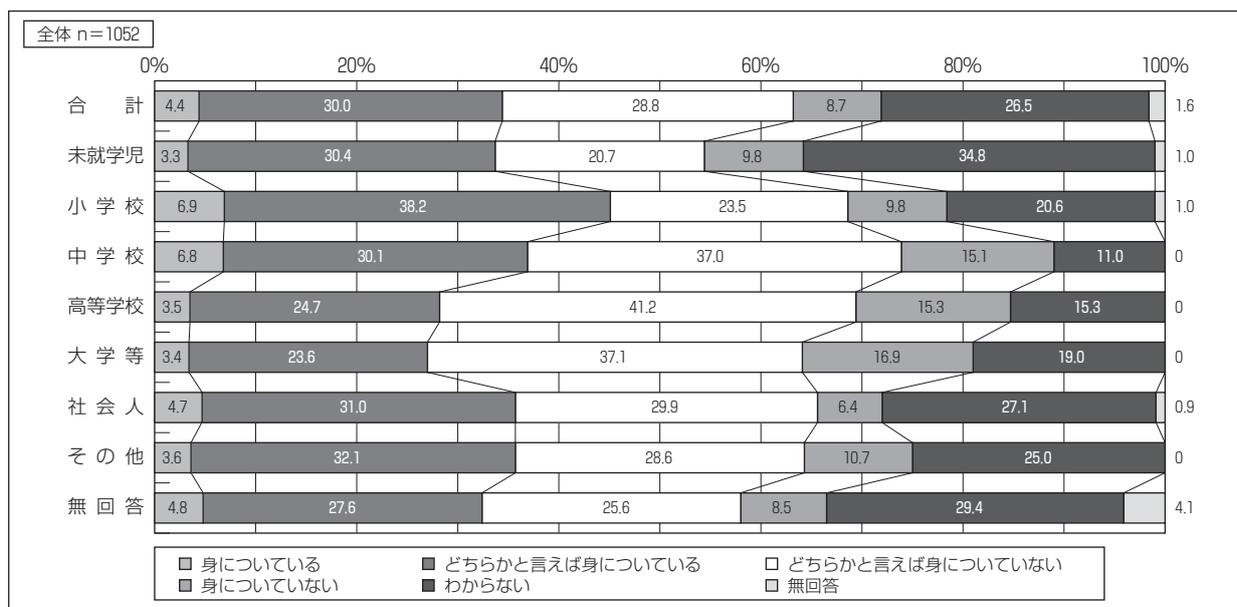
(2) これまでの取組みに関して

(ア) 児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などを育成することにより、確かな学力をはぐくみ、児童生徒自身の目標を達成するための以下の取組みなどから、本県の児童生徒に確かな学力が身についていると感じますか。

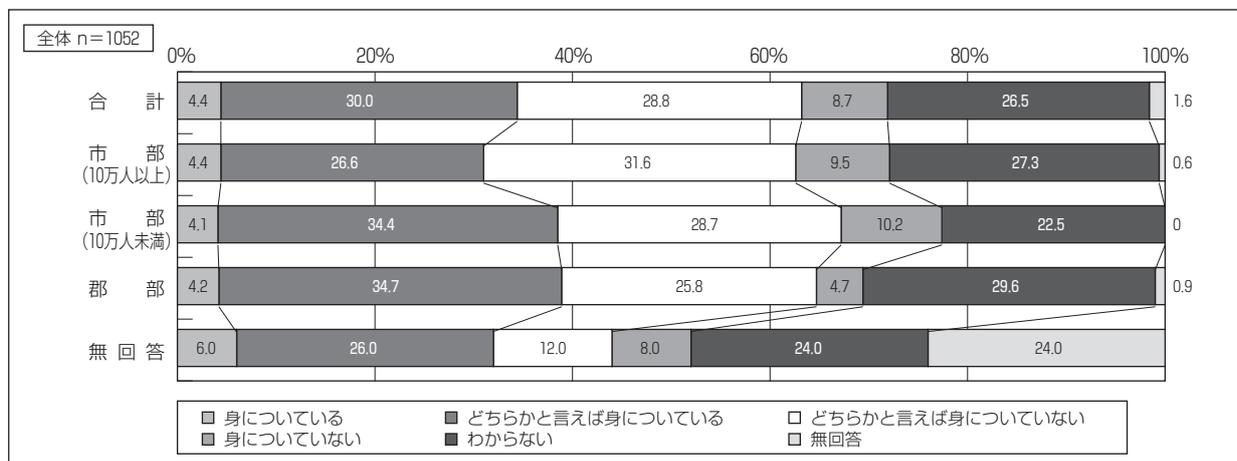


児童生徒の学力について、「どちらかと言えば身につけている」が30%と最も多く、次いで「どちらかと言えば身につけていない」の28.8%。さらに「わからない」が26.5%と続く。「身につけている」はもっとも低く4.4%となっている。「身につけている」、「どちらかと言えば身につけている」の合計が34.4%であったのに対し、「身につけていない」、「どちらかと言えば身につけていない」の合計は37.5%で、身につけていないと感じている県民がやや多い。

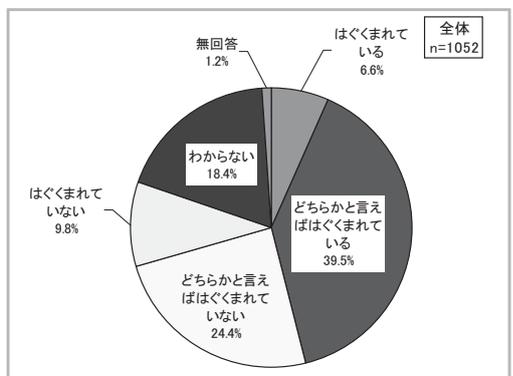
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕



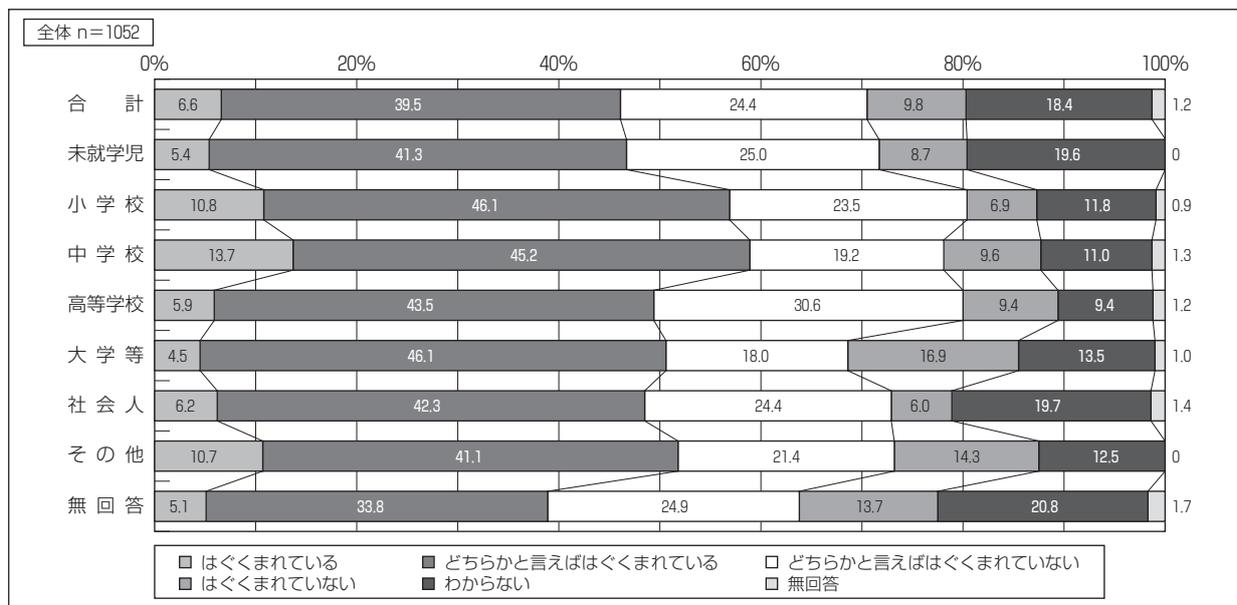
(イ) 児童生徒が自分のことだけでなく社会全体のために行動できるための以下の取組みなどから、本県の児童生徒に豊かな人間性や社会性がはぐくまれていると感じますか。



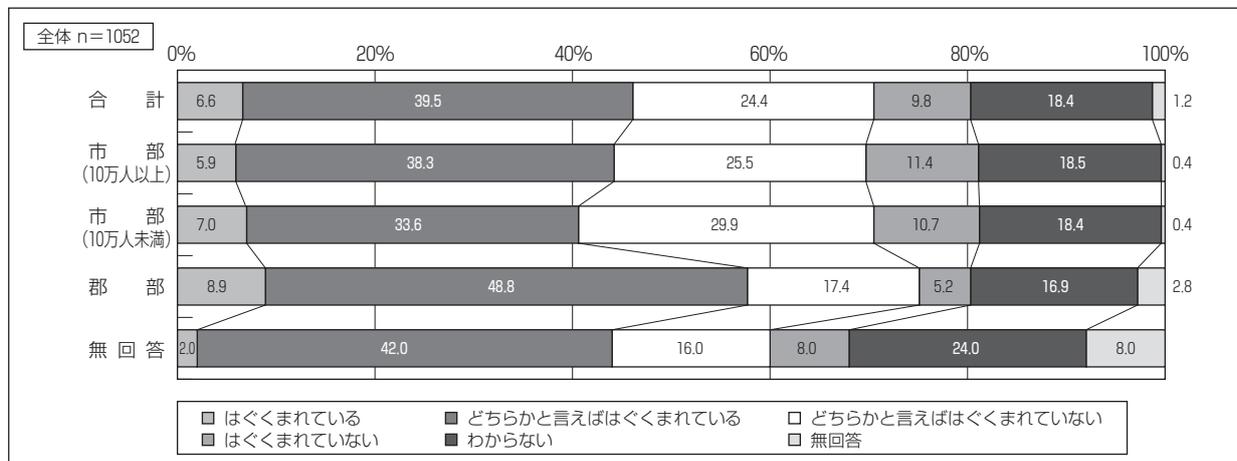
児童の生徒の人間性・社会性について、「どちらかと言えばはぐくまれている」が39.5%と最も多く、次いで「どちらかと言えばはぐくまれていない」が24.4%となっている。「はぐくまれている」は6.6%と最も低い割合である。

全体的には、約半数が、ある程度はぐくまれていると感じている。

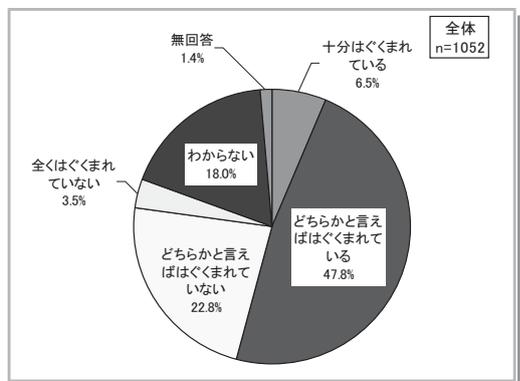
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

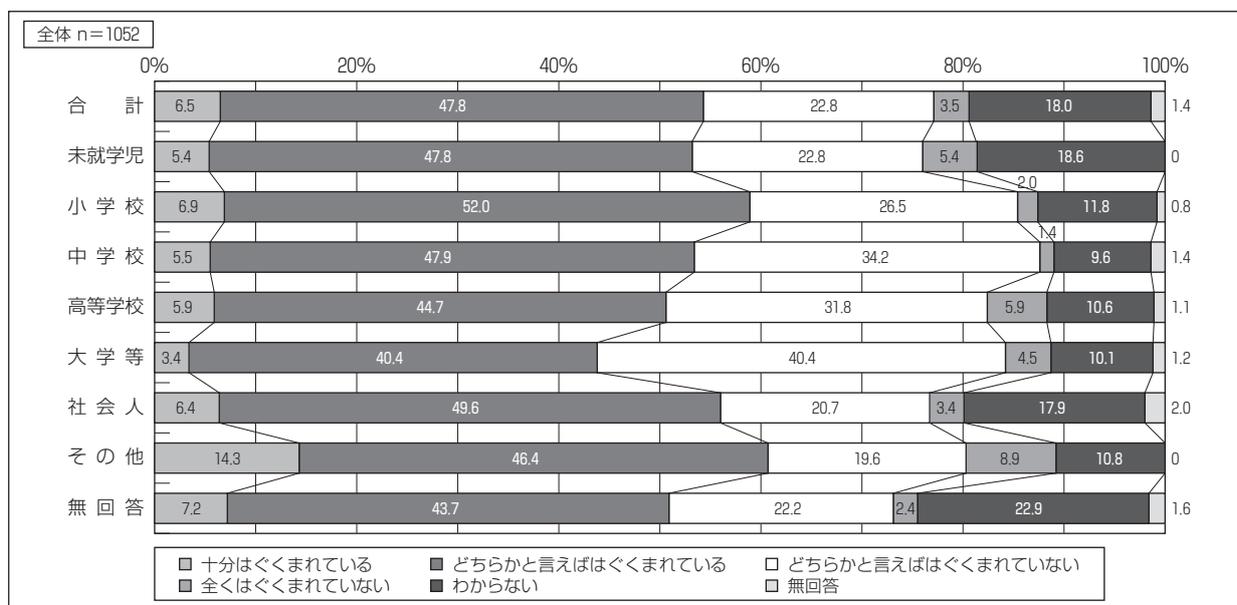


(ウ) 児童生徒の健やかな体をはぐくむための以下の取組みなどから、本県の児童生徒に健やかな体
 がはぐくまれていると感じますか。

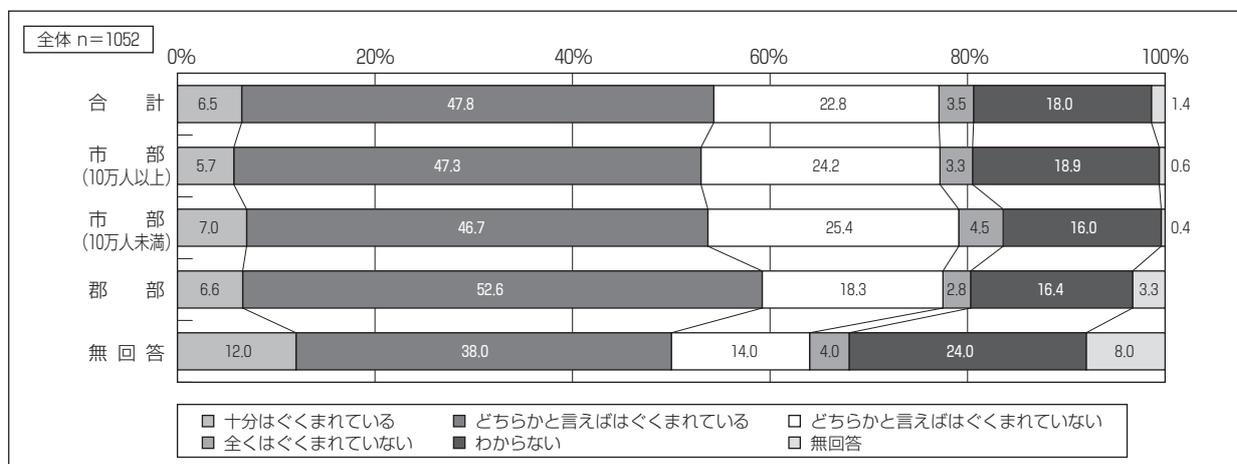


児童生徒の体・健康について、「どちらかと言えばはぐくまれている」が47.8%、「十分はぐくまれている」の6.5%で、『はぐくまれている』と感じている人の割合は54.3%となっている。

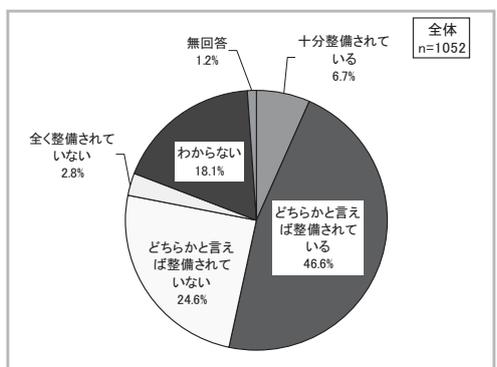
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

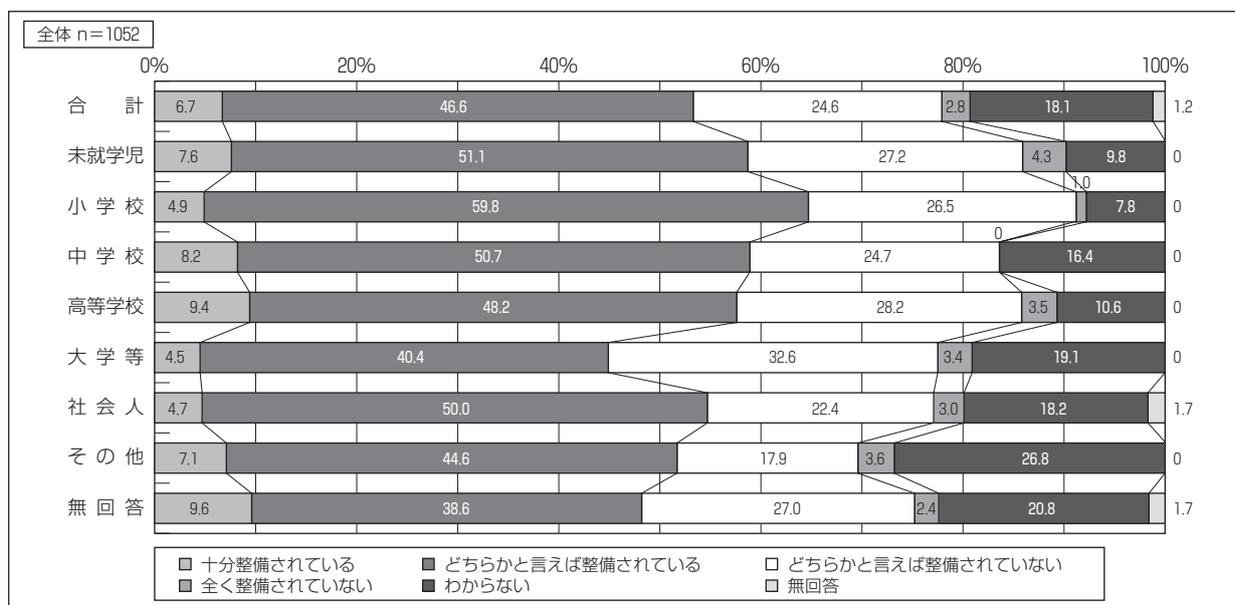


(エ) 安全安心な教育環境づくりのための以下の取組みなどから、本県において安全安心な教育環境が整備されていると感じますか。

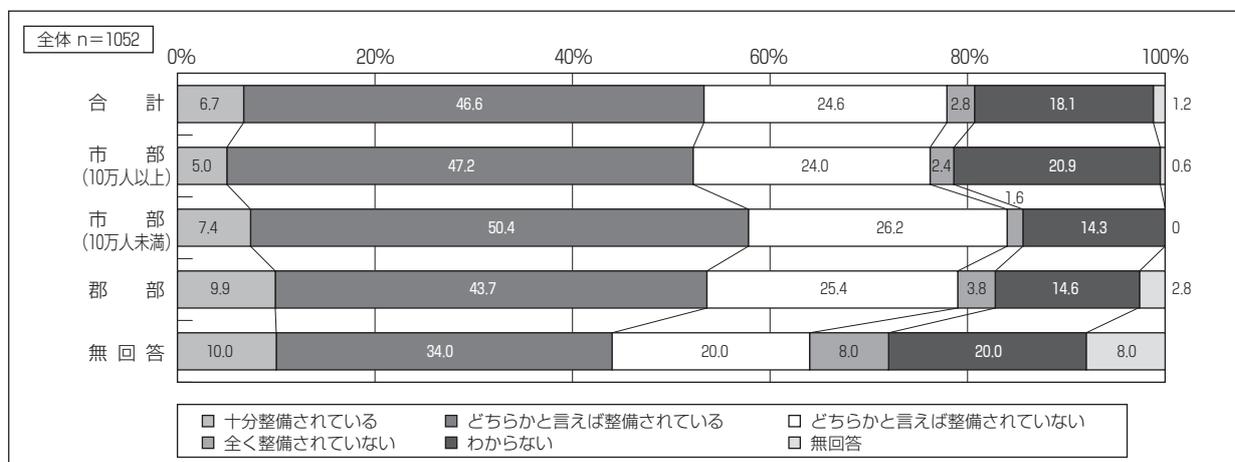


安全安心な教育環境の整備について、最も多かったのが「どちらかと言えば整備されている」の 46.6%で、「十分整備されている」は 6.7%と合わせ『整備されている』と感じている人の割合は 53.3%と半数以上。次いで多かったのが「どちらかと言えば整備されていない」の 24.6%となっている。

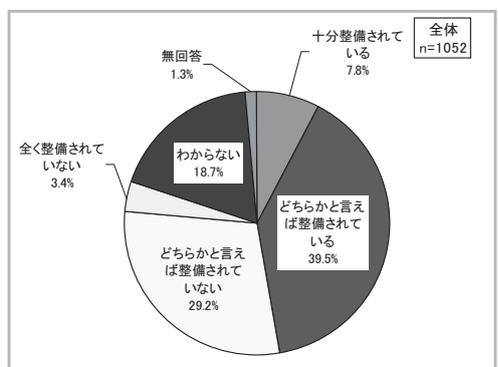
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

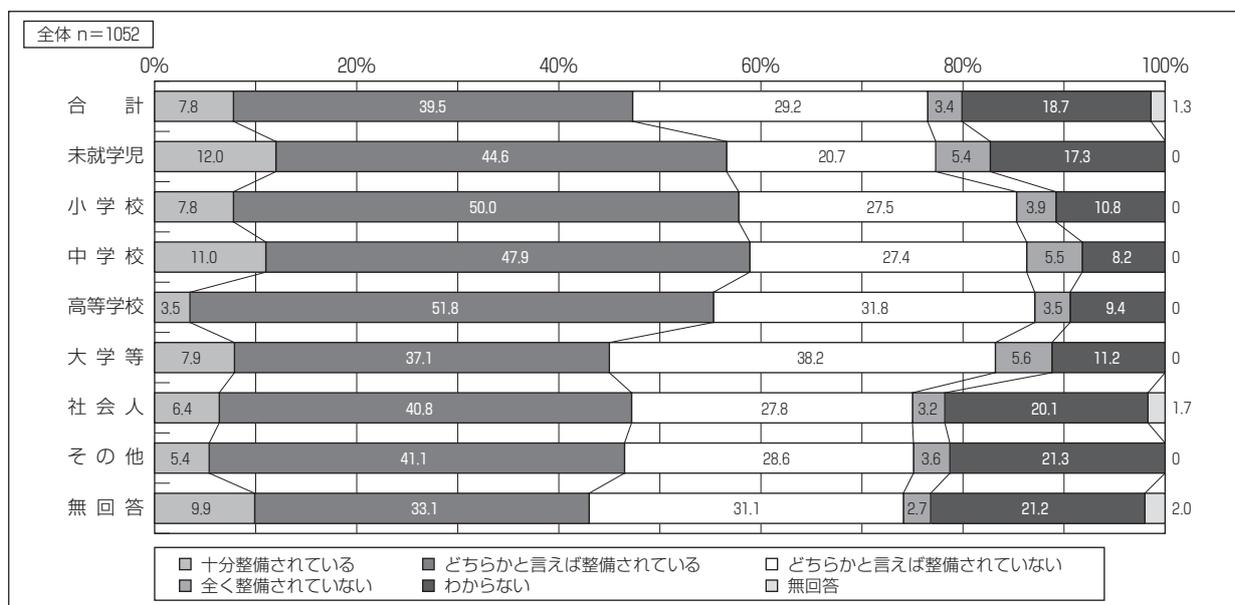


(オ) 学校教育においてきめ細やかな指導ができる体制づくりや児童生徒の学びへの意欲に応えるための以下の取組みなどから、本県の児童生徒の学習環境が整備されていると感じますか。

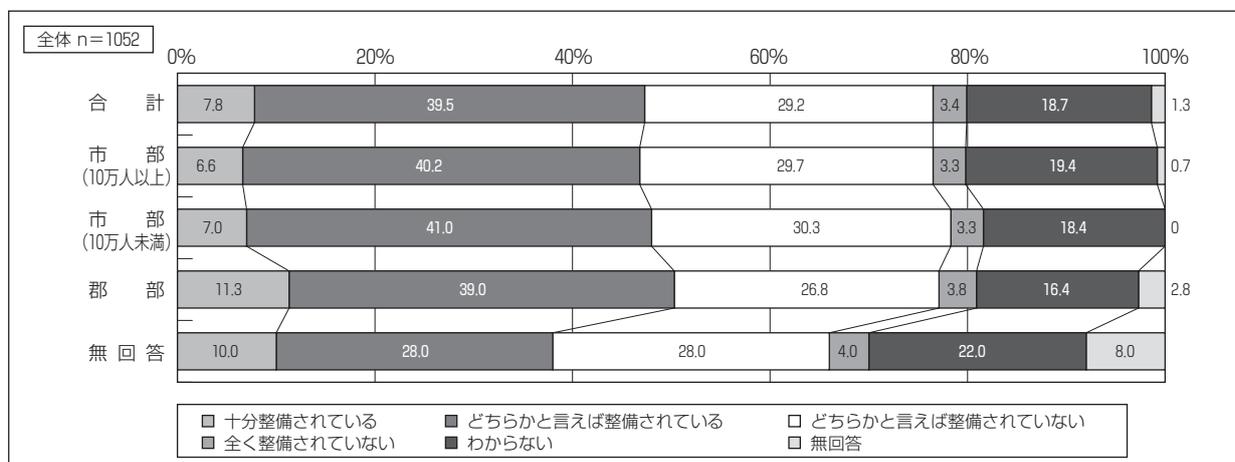


児童生徒の学習環境の整備について、「どちらかと言えば整備されている」が 39.5%と最も多く、「十分整備されている」の 7.8%と合わせ『整備されている』と感じている人の割合は 47.3%となっている。次いで「どちらかといえば整備されていない」が 29.2%と続く。

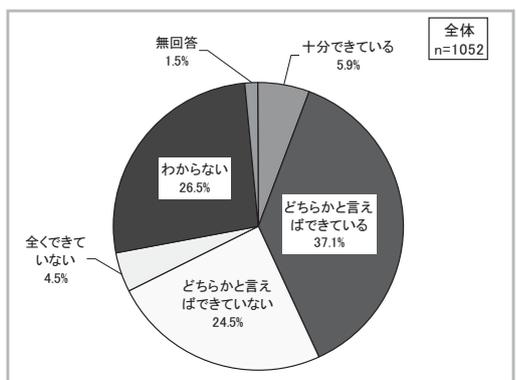
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

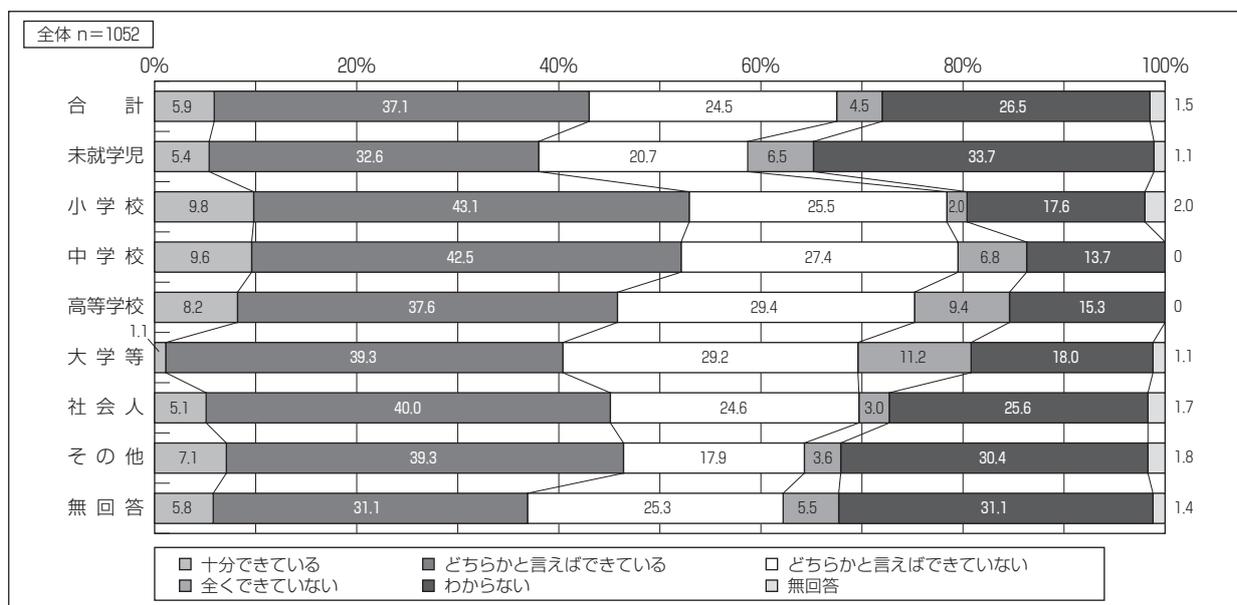


(カ) 開かれた学校づくりを進めるとともに、多くの人々からの理解や協力を得られる体制づくりのための以下の取組みなどから、本県において開かれた学校づくりがなされ、多くの方々からの理解や協力を得られる体制ができていると感じますか。

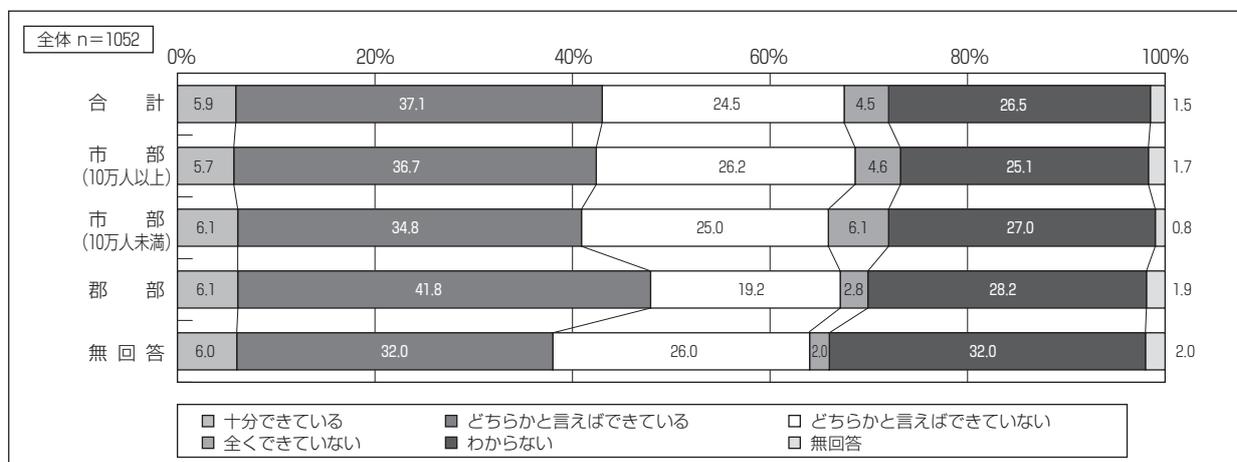


開かれた学校作りについては、「どちらかと言えばできている」が 37.1%で「十分できている」と合わせて『できている』計の割合は 43%と半数以下。また、『できていない』と感じている人の割合は 29%となっている。

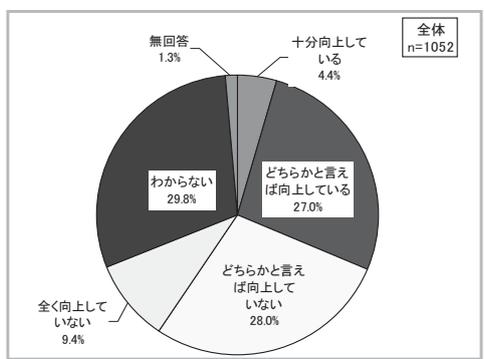
[子どもがいる場合の学校種等別]



[居住地域 (規模別)]

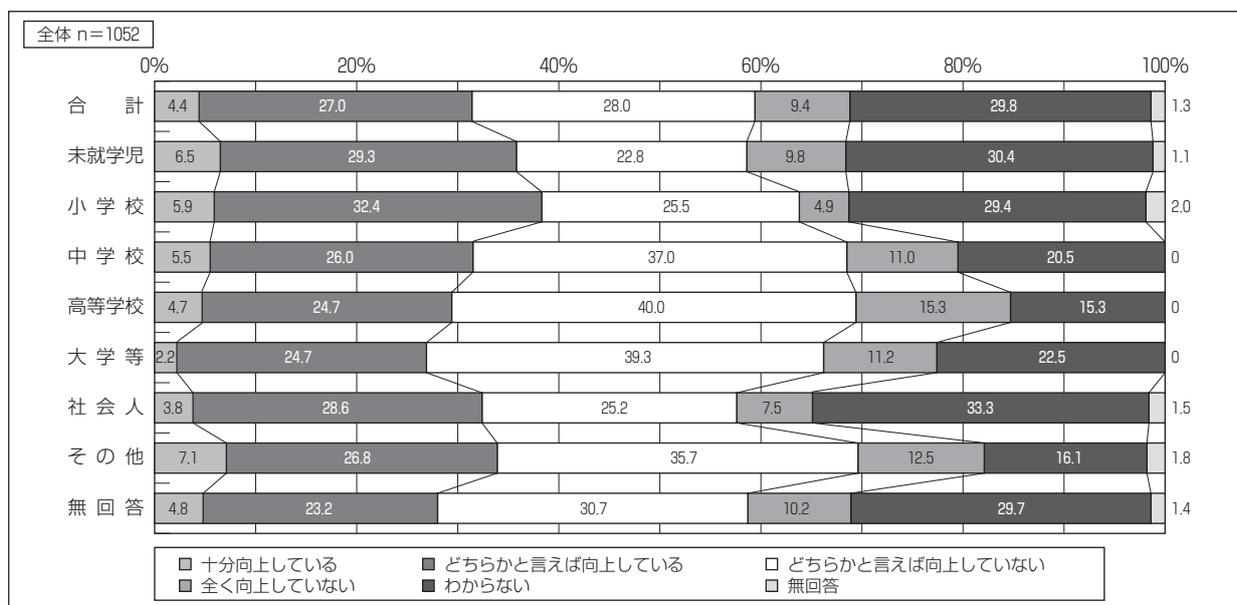


(キ) 学校全体の教育力を高め、学校教育を担う教員の指導力向上のための、以下の取組みなどから、本県の教員の指導力が向上していると感じますか。

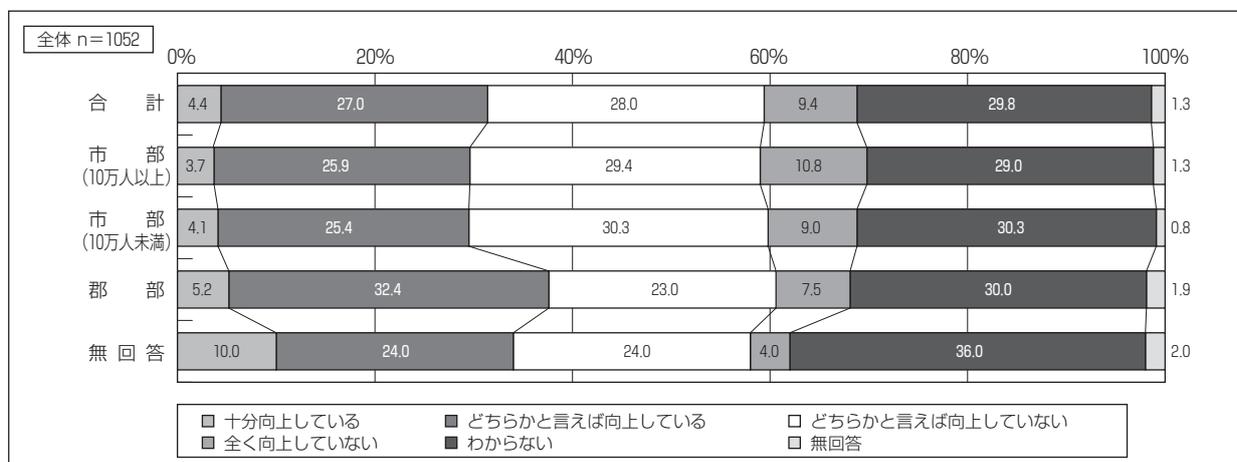


教員の指導力については、「どちらかと言えば向上している」が27.0%で、「十分向上している」の4.4%と合わせて『向上している』と感じている人の割合は31.4%であり、『向上していない』と感じている人の37.4%よりも低くなっている。

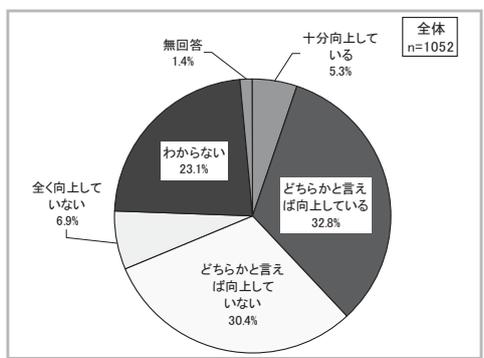
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

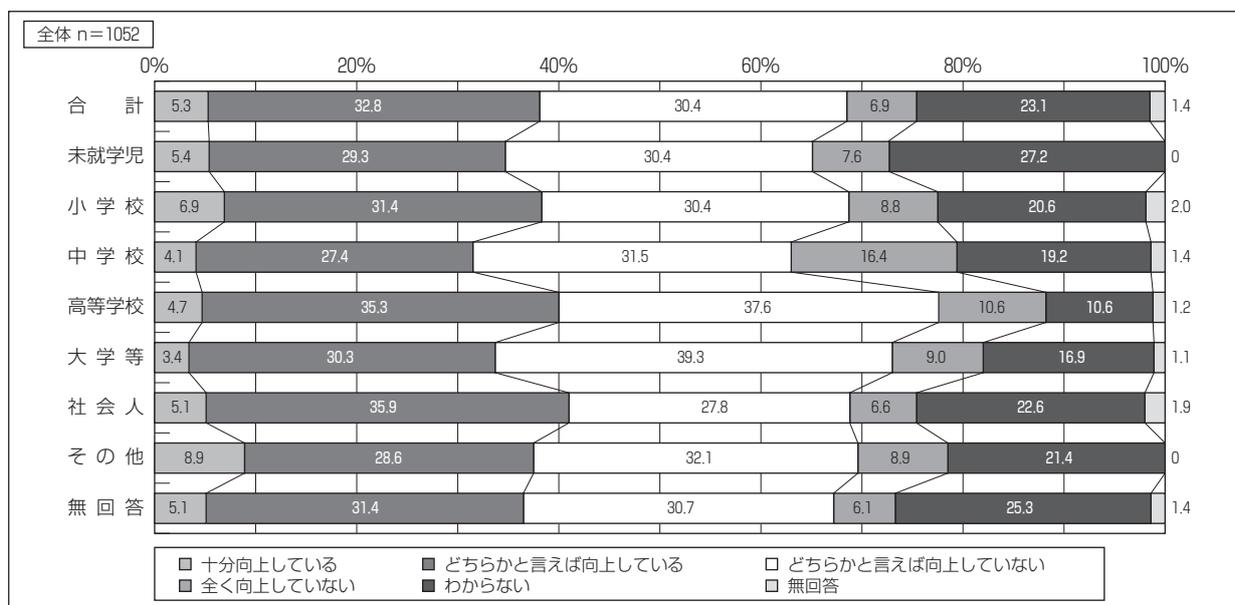


(カ) 学校、家庭、地域の連携・協力を進める一方、それぞれが主体的かつ確実にその役割を果たし、家庭や地域の教育力の向上を支援するための以下の取組みなどから、本県の家庭や地域の教育力が向上していると感じますか。

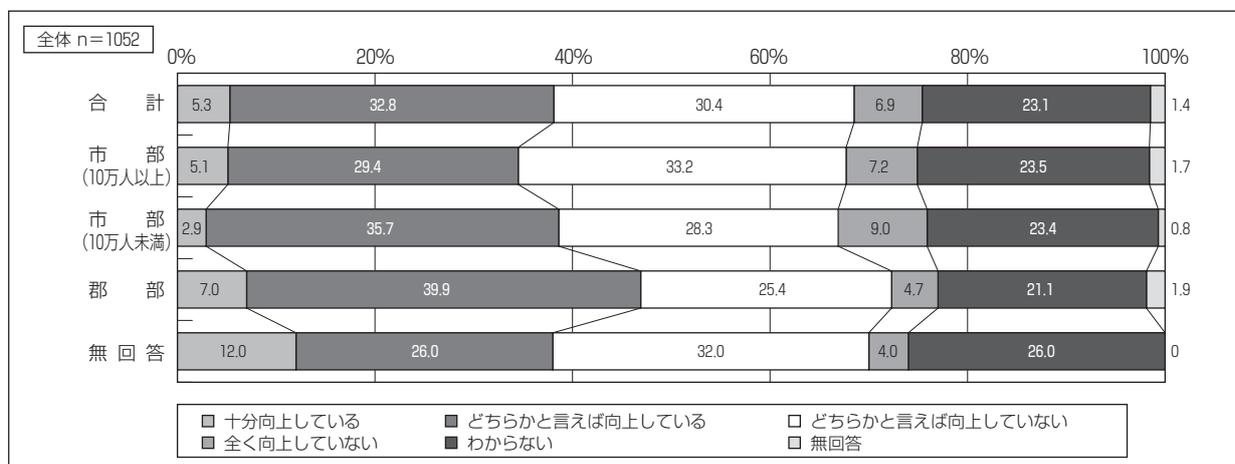


家庭や地域の教育については、「どちらかと言えば向上している」が 32.8%と最も多く、「十分向上している」の 5.3%と合わせて『向上している』と回答した人の割合は 38.1%であり、『向上していない』と感じている人の 37.3%よりも高くなっている。

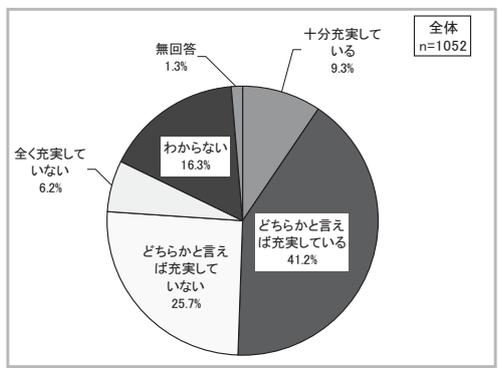
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

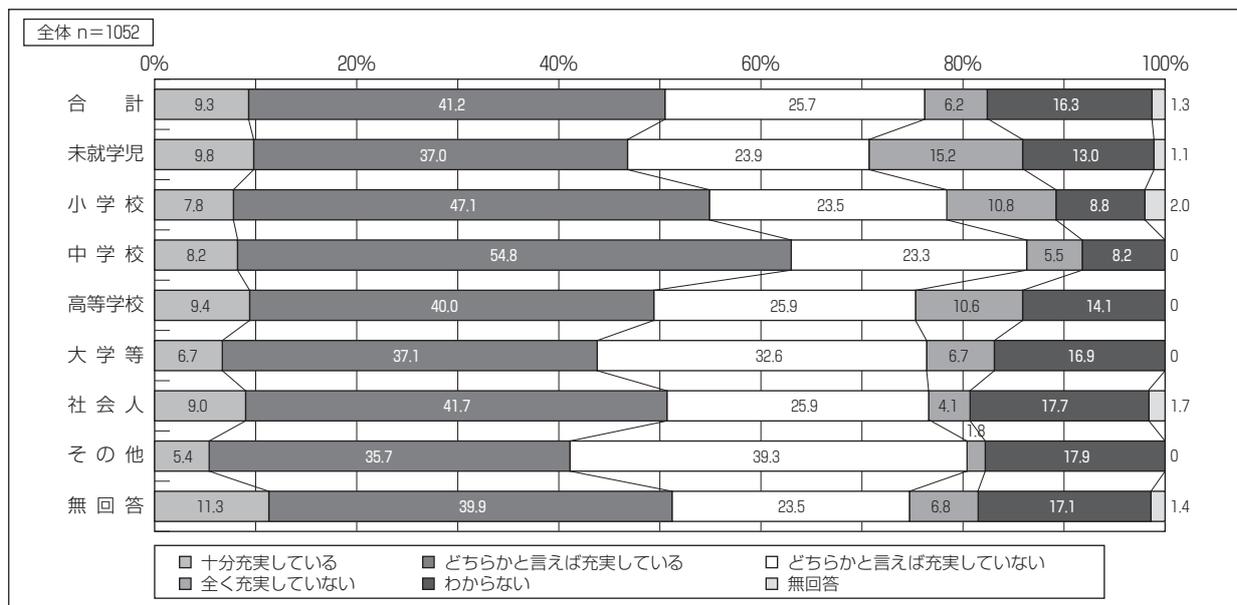


(ケ) 様々な学習機会を提供するための以下の取組みから、いつでも、どこでも、だれもが学びつづけることができる環境が充実していると感じますか。

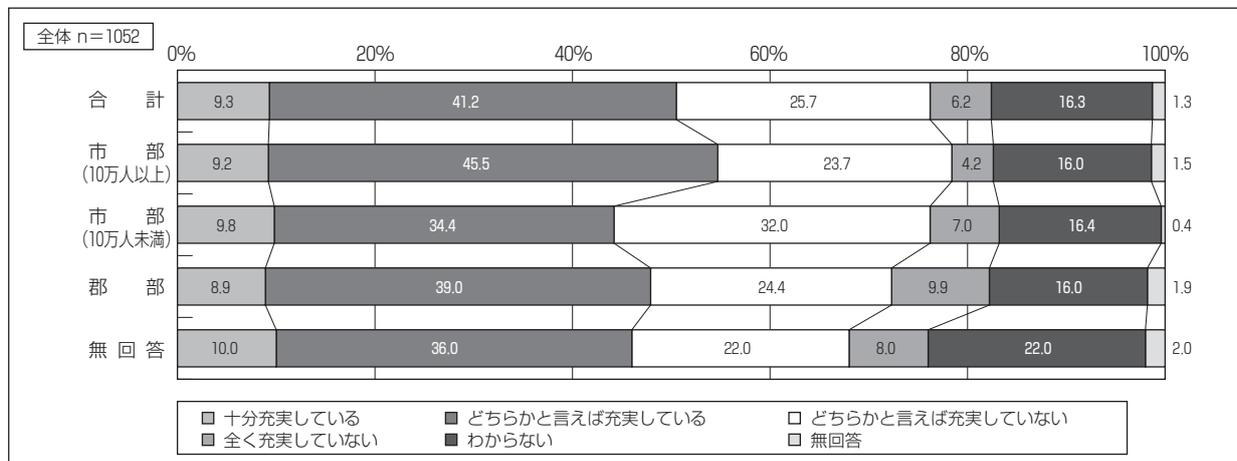


学び続けることができる環境整備については、「どちらかと言えば充実している」が 41.2%と最も多く、「十分充実している」の 9.3%と合わせた『充実している』と回答した人の割合は 50.5%とほぼ半数であったのに対して、『充実していない』と回答した人の割合は 31.9%となっている。

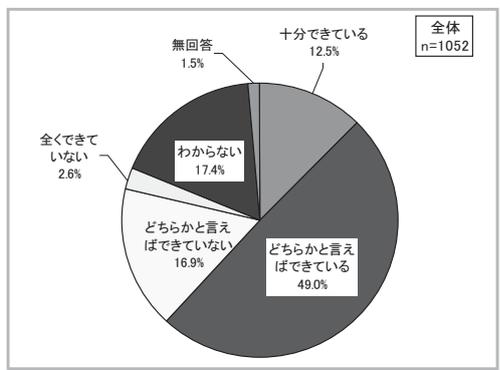
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

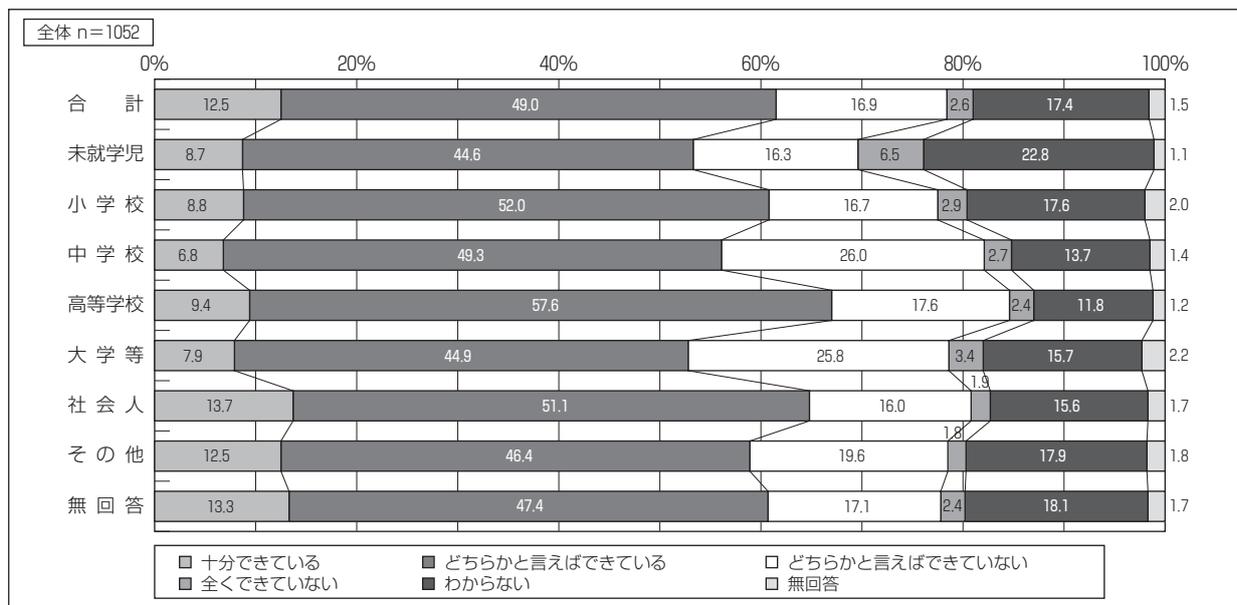


(コ) 地域における文化活動の進展に向けた環境づくりのための取組みなどから、本県の地域における文化活動の進展に向けた環境ができていると感じますか。

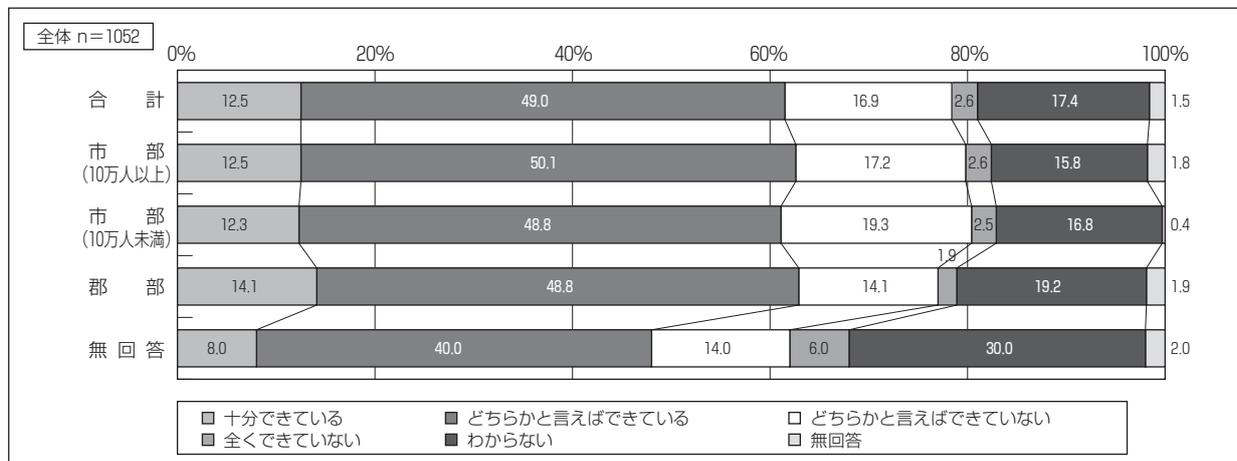


地域の文化活動の進展に向けた環境については、「どちらかと言えばできている」が49.0%とほぼ半数を占め、「十分できている」の12.5%と合わせた『できている』と回答した人の割合は61.5%となっている。

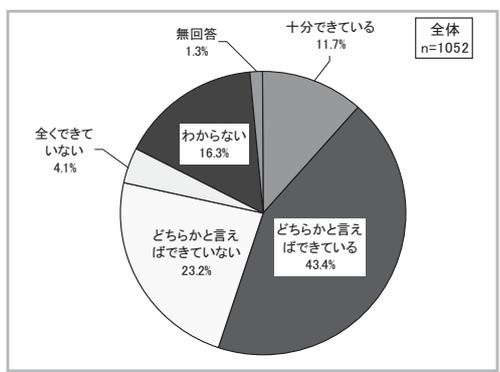
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

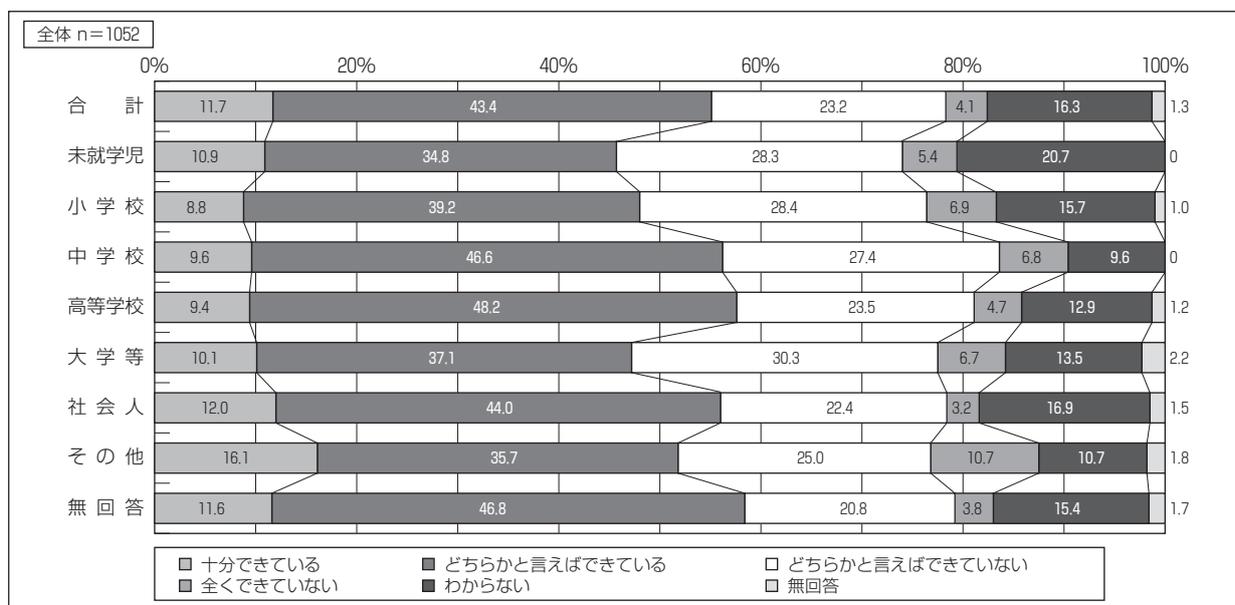


(サ) スポーツの環境づくりにおける以下の取組みなどから、本県において誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりができていますか。

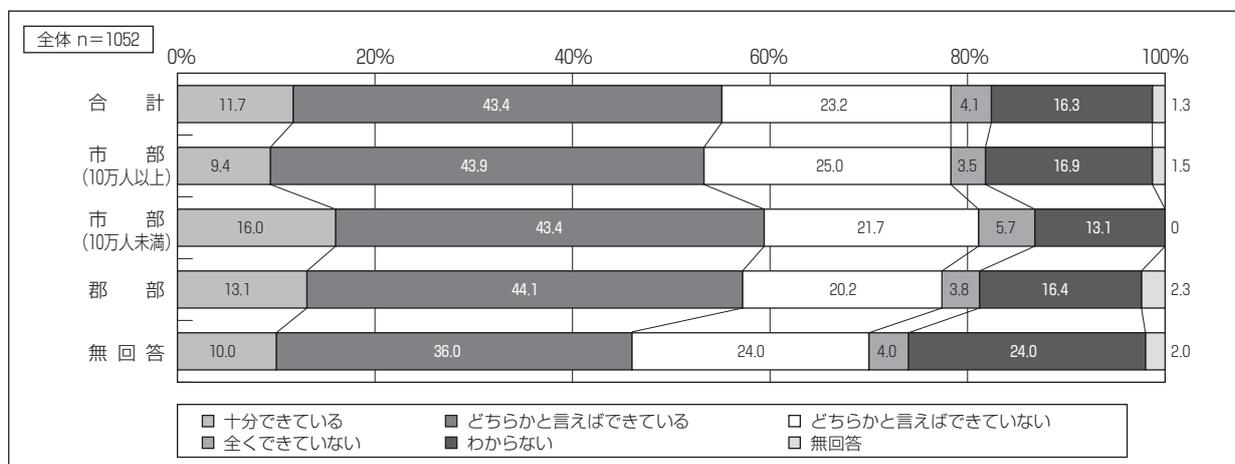


生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりについて、「どちらかと言えばできている」と答えたのが43.4%と最も多く、「十分できている」の11.7%と合わせた『できている』と回答した人の割合は55.1%と半数以上となっている。また、『できていない』と回答した人の割合は27.3%である。

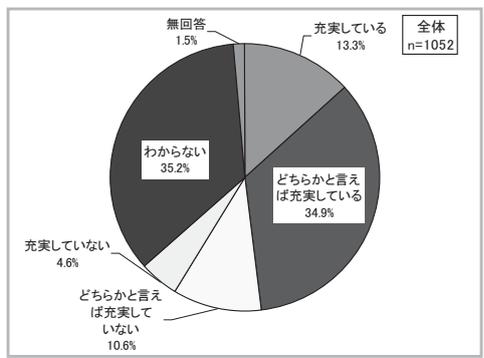
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

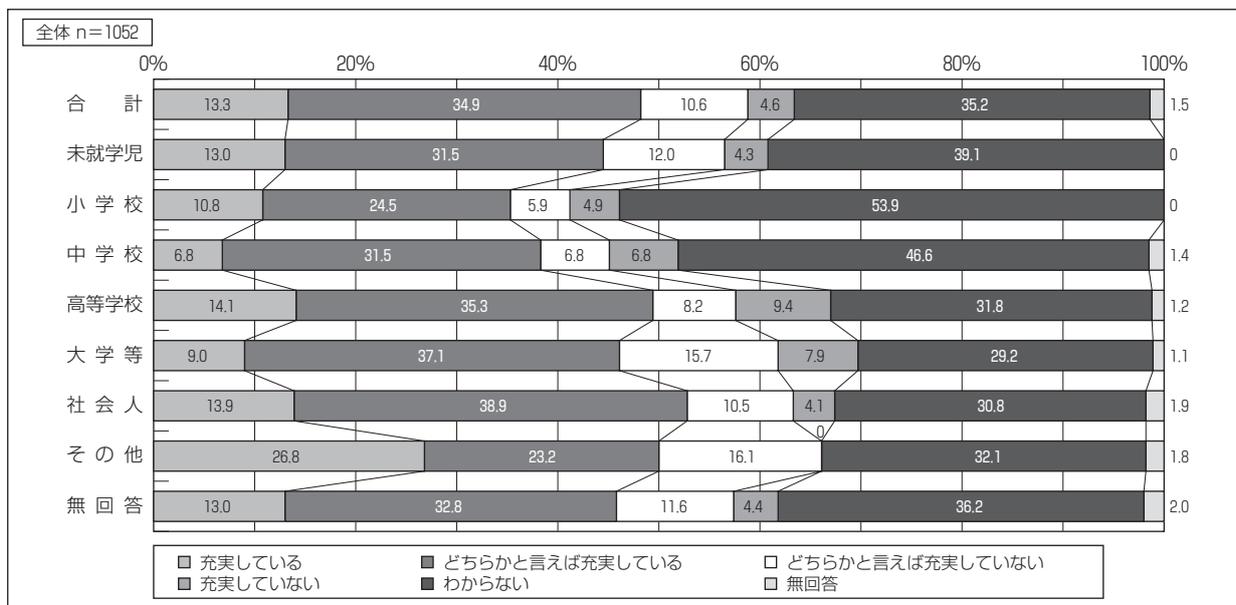


(シ) 平成18年度から公立大学法人に移行し、自主的で柔軟な運営が可能となった福島県立医科大学及び会津大学において、大学の魅力を高めるための以下の取組みなどから、上記大学の教育が充実していると感じますか。

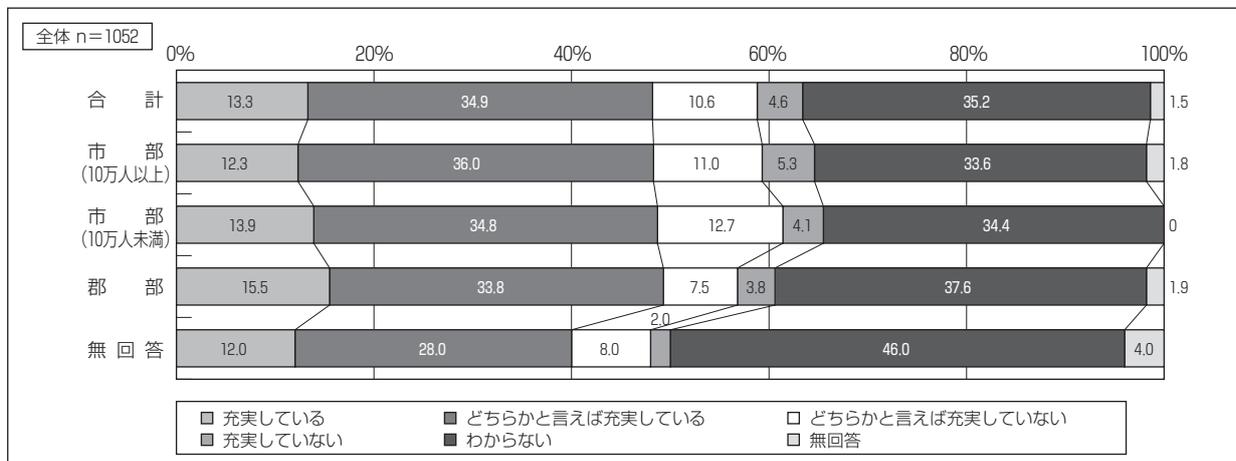


公立大学法人における教育の充実に関して、「わからない」が35.2%と最も多かった。「どちらかと言えば充実している」が34.9%と続き、「充実にしている」の13.3%と合わせて『充実している』と回答した人の割合は48.2%となっている。

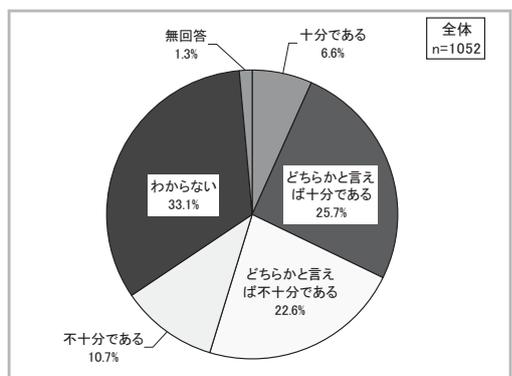
〔子どもがいる場合の学校種等別〕



〔居住地域（規模別）〕

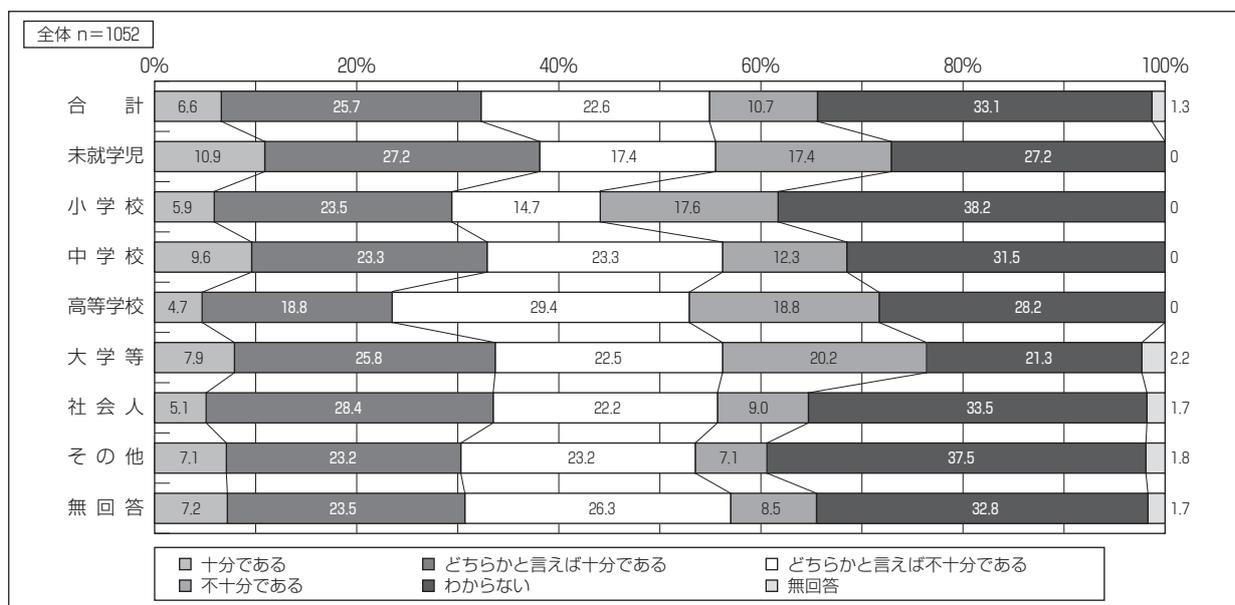


(ヌ) 私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）の教育条件の向上、学校の経営基盤の安定、さらには児童生徒等の保護者の経済的負担の軽減を図るために行っている、私立学校への助成金交付などの取り組みから、私学教育の振興が十分であると感じますか。

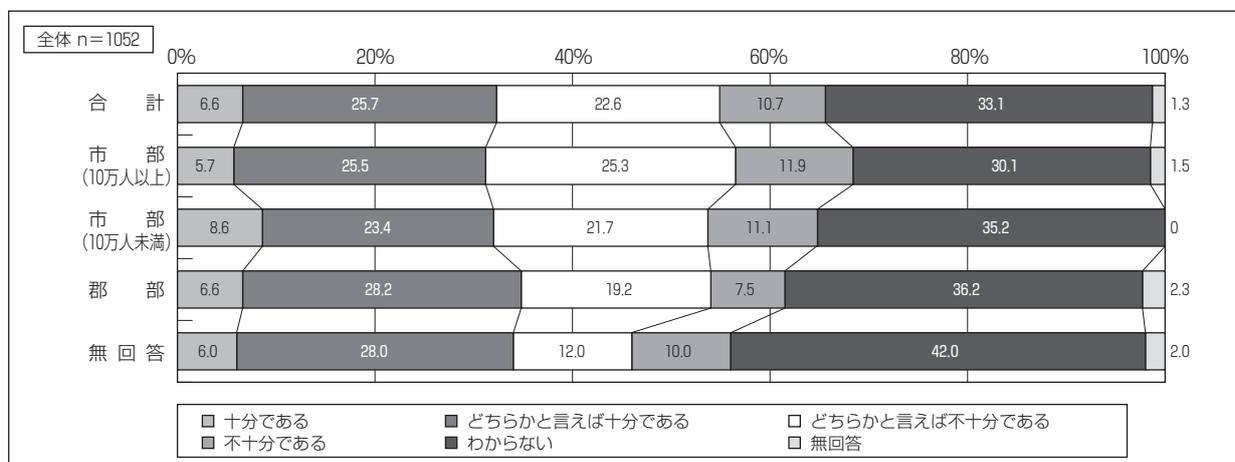


私立学校の振興について、「わからない」の割合が33.1%と最も多く、『十分である』と回答した人の割合32.3%と、『不十分である』と回答した人の割合33.3%とくらべ大差は見られない。

〔子どもがいる場合の学校種等別〕

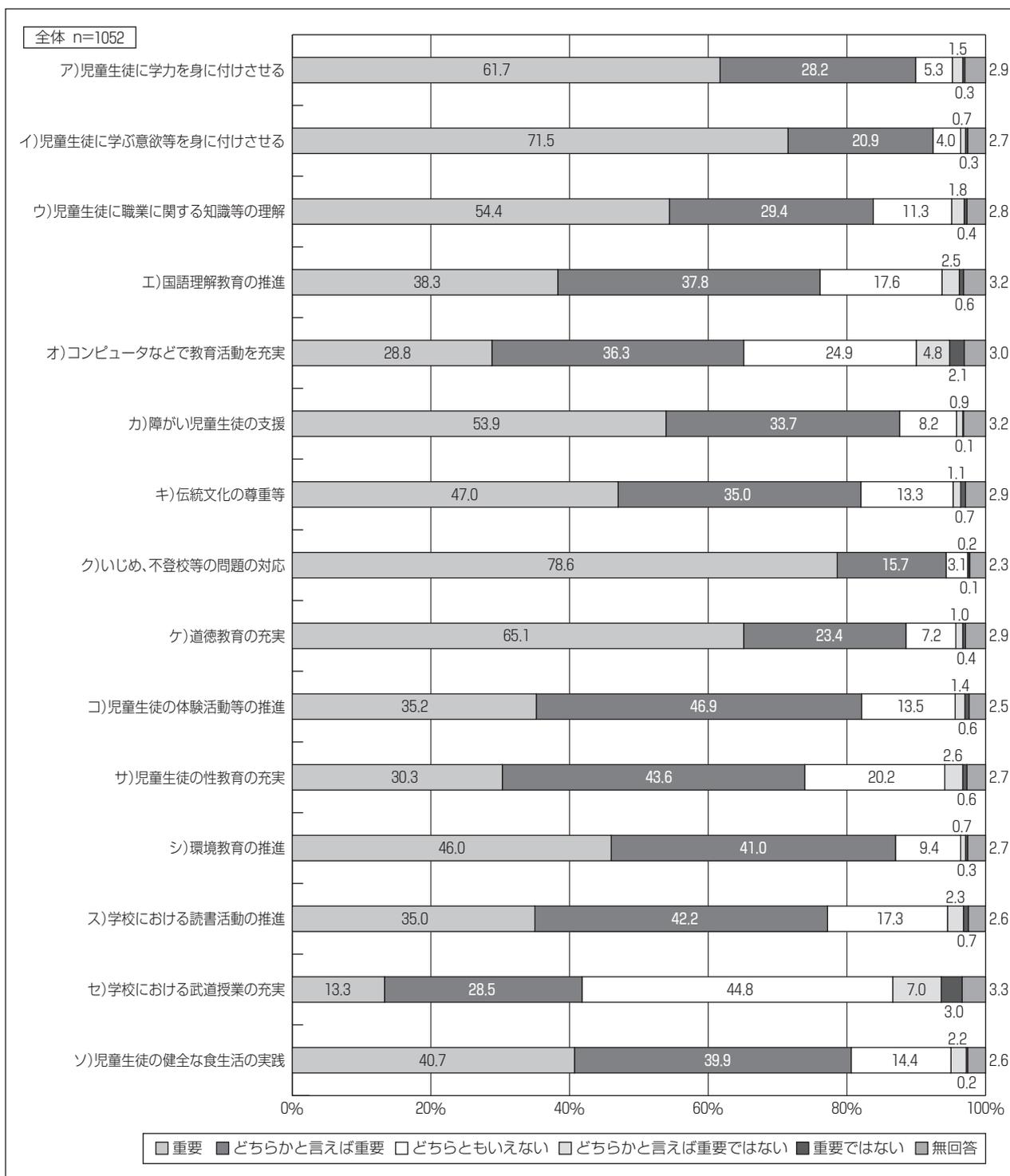


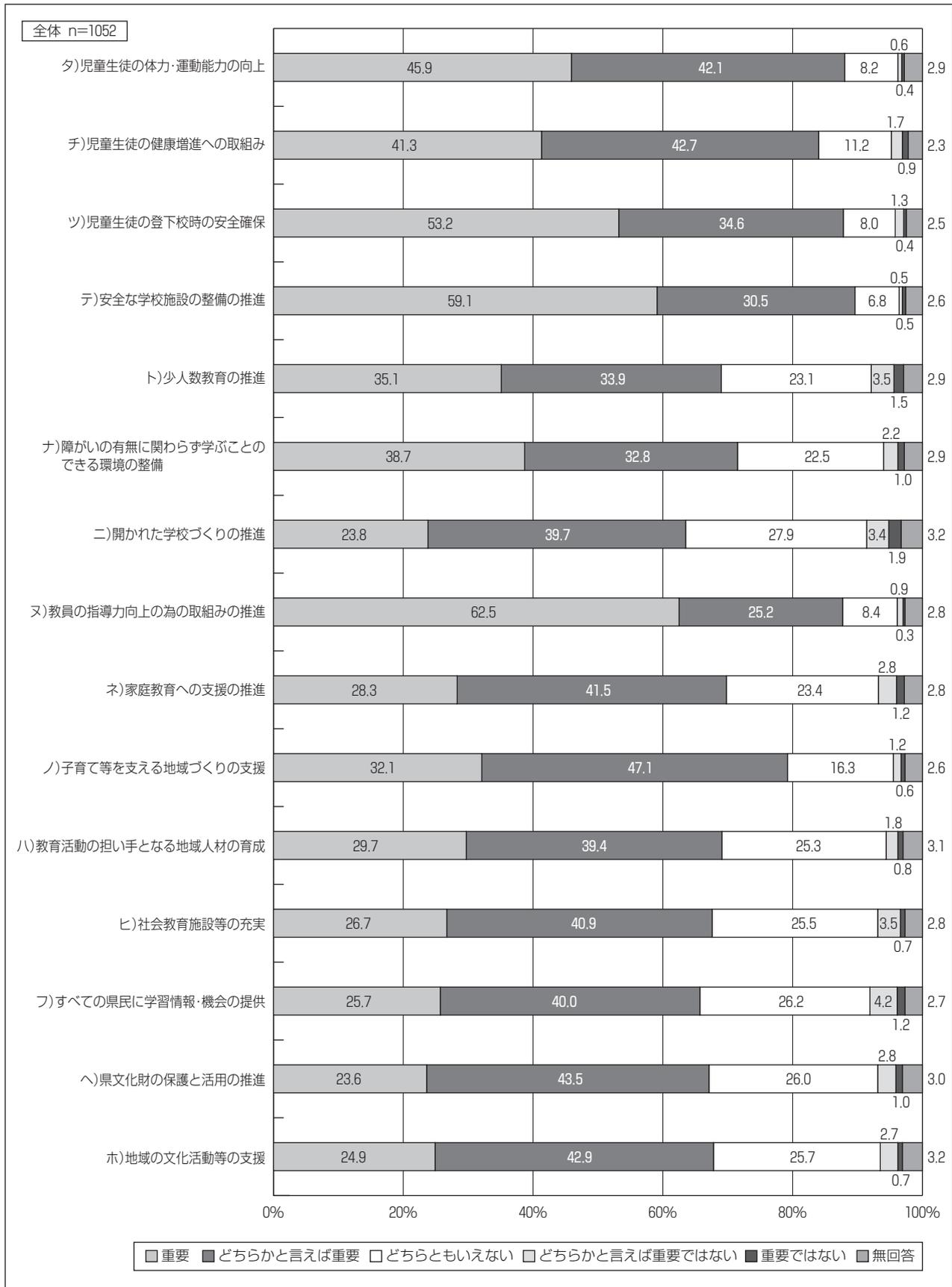
〔居住地域（規模別）〕

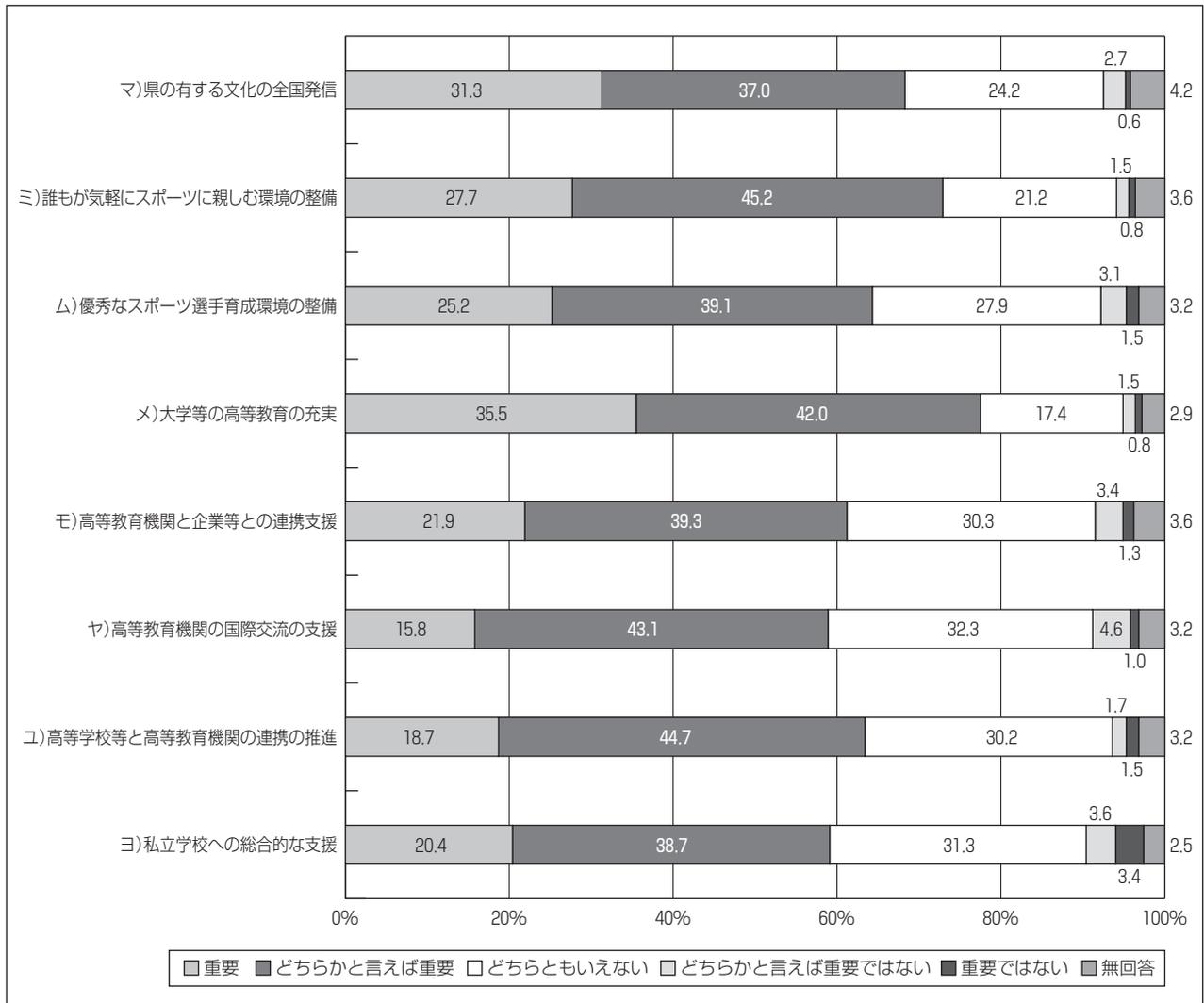


(3) 施策内容の今後の重要性について

施策の今後の重要性については、『暴力行為やいじめ、不登校などの問題に適切に対応し、安心して学ぶことができる体制を整備する。』が 94.3%と最も多く、次いで『児童生徒に学ぶ意欲や学習習慣を身に付けさせる。』が 92.4%であった。また、90%台に近い項目としては、『児童生徒に知識や技能などの学力を身に付けさせる。』の 89.9%、『耐震化の推進など、安全で安心できる学校施設の整備を推進する』の 89.6%がある。







「新しい長期総合教育計画に関するアンケート」調査票

福島県教育委員会

- 1 以下の質問は、アンケートにお答えいただいた内容を統計的に分析するためにお尋ねするものです。当てはまるものの記号に○をつけてください。

質問1 あなたの性別をお答えください。

ア 男	イ 女
-----	-----

質問2 あなたの満年齢をお答えください。(平成21年3月現在)

ア 15～19歳	イ 20～24歳	ウ 25～29歳
エ 30～34歳	オ 35～39歳	カ 40～44歳
キ 45～49歳	ク 50～54歳	ケ 55～59歳
コ 60～64歳	サ 65～69歳	シ 70歳以上

質問3 あなたのご職業は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。(複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください。)

ア 農・林・漁業 (農業・林業・漁業の自営者、家族従事者)
イ 商・工・サービス業 (小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従事者)
ウ 自由業 (開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従事者)
エ 管理職 (民間会社・官公庁の課長級以上)
オ 事務職・専門技術職 (事務職員・教員・技術者など)
カ 技能職・労務職 (技能工・販売店員・外交員・セールスマンなどの外務員など)
キ パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など
ク 専業主夫・主婦
ケ 学生・生徒
コ その他 (具体的に:)
サ 無職

2 これまでの福島県の取組みに関して御意見をお聞かせください。

問1 福島県は、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などを育成することにより、確かな学力をはぐくみ、児童生徒自身の目標を達成することができるよう取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 小・中学校における家庭学習習慣の確立を図るとともに、高等学校において英語・数学の学力向上に取り組み、児童生徒の能力を最大限に伸ばせるようにする。
- 児童生徒の成長に応じ、様々な職業に関する知識や働く意味などを理解させ、生き方を考えさせる教育を推進する。
- 国際化に対応できる人材を育成する観点から、英語に関する様々な学習の機会を提供する。
- 障がい等がある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を充実させる。
- 県内の高等学校等と大学との連携を推進する。

これらの取組みなどから、本県の児童生徒に確かな学力が身についていると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	身についている
2	どちらかと言えば身についている
3	どちらかと言えば身につけていない
4	身につけていない
5	わからない

問2 福島県は、児童生徒が自分のことだけでなく社会全体のために行動できるように、豊かな人間性や社会性を児童生徒が身に付けることができるよう取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 暴力行為やいじめ、不登校などの問題に適切に対応し、安心して学ぶことができる教育相談体制の整備に努める。
- 決められたルールを守ることや善悪の判断力、思いやりの心などの道徳性をはぐくむため、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を充実させる。
- 体験活動やボランティア活動を通して、地域における様々な人々と関わりを持つ取組みを推進する。
- 福島県の豊かな自然の学習と地球温暖化防止への取組みを推進する。

これらの取組みなどから、本県の児童生徒に豊かな人間性や社会性がはぐくまれていると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	はぐくまれている
2	どちらかと言えばはぐくまれている
3	どちらかと言えばはぐくまれていない
4	はぐくまれていない
5	わからない

問3 福島県は、児童生徒の健やかな体をはぐくむため、児童生徒の健康増進や体力向上に取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 食に関する知識等を習得させ、望ましい食生活を実践していく能力や感謝の心をはぐくむ。
- 児童生徒の体力向上を目指し、指導者の育成と指導法の研究や開発を行う。
- 運動部の活動を支援する。

これらの取組みなどから、本県の児童生徒の健やかな体をはぐくまれていると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分はぐくまれている
2	どちらかと言えばはぐくまれている
3	どちらかと言えばはぐくまれていない
4	全くはぐくまれていない
5	わからない

問4 福島県は、安全安心な教育環境づくりのため、学校安全体制の整備を進めています。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 県民の安全・安心確保の観点から、学校施設の一層の耐震化を推進する。
- 地域のボランティアの方にご協力いただくなど、地域社会全体で学校安全体制の整備に取り組む。
- 児童生徒の心臓性突然死を未然に防ぐため、救急体制を整備する。

これらの取組みなどから、本県において安全安心な教育環境が整備されていると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分整備されている
2	どちらかと言えば整備されている
3	どちらかと言えば整備されていない
4	全く整備されていない
5	わからない

問5 福島県は、学校教育においてきめ細やかな指導ができる体制づくりや児童生徒の学びへの意欲に応えることができる学習環境の整備を進めています。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 学習と生活両面にわたりきめ細やかに指導するため、国が基準とする40人ではなく、30人程度で学級編制が可能となるよう必要な教員を手厚く配置するなどの少人数教育を推進する。
- 中学校と高等学校を接続し、6年間の計画的、継続的な教育を行う中高一貫教育を実践する。
- 障がいがある児童生徒が、障がいの種類などに関係なく、障がいのない児童生徒と共に学ぶ環境の整備に努める。
- 悩みを持つ児童生徒が相談しやすいよう専門家を配置するなど、教育相談体制を充実させる。

これらの取組みなどから、本県の児童生徒の学習環境が整備されていると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分整備されている
2	どちらかと言えば整備されている
3	どちらかと言えば整備されていない
4	全く整備されていない
5	わからない

問6 福島県は、開かれた学校づくりを進めるとともに、多くの人々からの理解や協力を得られる体制づくりに取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 学校を、教員、保護者、地域住民等の連携協力や地域住民の生涯学習の場として活用するなどの取組みを支援する。
- 11月1日を「ふくしま教育の日」とし、その普及啓発を通して、県民の教育に対する理解を深める。
- 保護者や地域住民等を学校評議員に委嘱し、学校運営や教育活動に関して意見や評価をいただき、教育方針や教育計画に反映させる。

これらの取組みなどから、本県において開かれた学校づくりがなされ、多くの方々からの理解や協力を得られる体制ができていると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分できている
2	どちらかと言えばできている
3	どちらかと言えばできていない
4	全くできていない
5	わからない

問7 福島県は、学校全体の教育力を高めるため、学校教育を担う教員の指導力向上に取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 教員の資質向上のため、研修システムや研修内容を充実する。
- 教職員が自分の目標を設定し、その実現に向けて自ら指導力等の向上に努めていく制度を定着させる。
- 学習指導や生徒指導等において熱心に活動し、顕著な成果を上げた教職員を表彰するなど、教職員のやる気を引き出す仕組みを作り、教育活動の活性化を図る。

これらの取組みなどから、本県の教員の指導力が向上していると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分向上している
2	どちらかと言えば向上している
3	どちらかと言えば向上していない
4	全く向上していない
5	わからない

問8 福島県は、学校、家庭、地域の連携・協力を進める一方、それぞれが主体的かつ確実にその役割を果たすことができるよう、家庭や地域の教育力の向上を支援しています。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 多様化する子育ての課題に対応し、保護者が家庭教育について学習する機会を充実させ、支援する。
- 親子の関わりを充実させるための取組みを推進する。
- 地域で子どもたちを育てる取組みを支援するとともに、地域の教育活動を支える人材の育成に努める。
- 地域において大人と子どもが触れ合う世代間交流などの体験活動を支援する。

これらの取組みなどから、本県の家庭や地域の教育力が向上していると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分向上している
2	どちらかと言えば向上している
3	どちらかと言えば向上していない
4	全く向上していない
5	わからない

問9 福島県は、様々な学習機会を提供するとともに、いつでも、どこでも、だれもが学びつづけることができる環境整備に取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 図書館、美術館、博物館等の社会教育施設等の充実を図る。
- 公立図書館相互のネットワークを整備する。
- すべての県民に対して学習情報や学習機会を広く提供する。

これらの取組みなどから、本県において学びつづけることができる環境が充実していると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分充実している
2	どちらかと言えば充実している
3	どちらかと言えば充実していない
4	全く充実していない
5	わからない

問10 福島県は、優れた地域文化に触れる機会や日ごろの文化活動の成果を発表する機会の拡充など、地域における文化活動の進展に向けた環境づくりに取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 本県の文化財の適切な保存と活用を推進し、県民が郷土に対して誇りを持てる文化的環境づくりを図る。
- 伝統文化や合唱などを含め、本県の有する優れた文化を全国に発信する。
- 総合美術展覧会の開催や県文学賞の募集・表彰など、文化活動の成果発表などの支援に努める。

これらの取組みなどから、本県の地域における文化活動の進展に向けた環境ができていますと感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分できている
2	どちらかと言えばできている
3	どちらかと言えばできていない
4	全くできていない
5	わからない

問11 福島県は、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の整備に取り組んでいます。

具体的な取組み例は次のとおりです。

- 地域の住民が自ら運営・管理する総合型地域スポーツクラブ*の設立等を支援する。
- スポーツ選手の発掘、育成、強化の一貫した指導体制を確立し、国際大会等で活躍できる人材を育成する。
- 大規模な大会の開催を通して競技力の向上を図るとともに、スポーツを観る機会の拡充を図り、県民のスポーツへの関心を高める。

これらの取組みなどから、本県において誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりができていますと感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分できている
2	どちらかと言えばできている
3	どちらかと言えばできていない
4	全くできていない
5	わからない

問12 福島県は、平成18年度から、福島県立医科大学及び会津大学・会津大学短期大学部を公立大学法人に移行しました。その結果、これらの大学では、自主的で柔軟な運営が可能となり、大学の魅力を高めるさまざまな取り組みが行われています。

具体的な取り組み例は次のとおりです。

- 医科大学の医学部の定員を増やすなど、医師・看護師の養成に努めるとともに、地域医療の充実を図る。
- 会津大学において、人工衛星「かぐや」のデータを解析するなど先進の研究を行う。

これらの取り組みなどから、公立大学法人に移行した福島県立医科大学及び会津大学・会津大学短期大学部における教育が充実していると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分充実している
2	どちらかと言えば充実している
3	どちらかと言えば充実していない
4	全く充実していない
5	わからない

問13 福島県は、私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）の教育条件の向上、学校の経営基盤の安定、さらには児童生徒等の保護者の経済的負担の軽減を図るため、私立学校への助成金の交付などを行い、私学教育の振興に取り組んでいます。

これらの取り組みなどから、私学教育の振興が十分であると感じますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選び、○印をつけてください。

1	十分である
2	どちらかと言えば十分である
3	どちらかと言えば不十分である
4	不十分である
5	わからない

3 次にあげたア)～ヨ)の項目が今後も重要であるかどうかについて、あなたのご意見をお聞かせください。それぞれの項目ごとにあなたのお考えに最も近いものを1～5から1つ選び、○をつけてください。

施 策	今後の重要性				
	重 要	ば ど 重 ち 要 ら か と 言 え	な ど い ち ら ら と も 言 え	ば ど 重 ち 要 ら で か は と な 言 い え	重 要 で は な い
ア) 児童生徒に知識や技能などの学力を身に付けさせる。	1	2	3	4	5
イ) 児童生徒に学ぶ意欲や学習習慣を身に付けさせる。	1	2	3	4	5
ウ) 児童生徒一人ひとりに様々な職業に関する知識や働く意味を理解させる。	1	2	3	4	5
エ) 自国及び他国文化の理解や英語教育の充実など国際理解教育を推進する。	1	2	3	4	5
オ) コンピュータやインターネットなどを活用して教育活動を充実させる。	1	2	3	4	5
カ) 障がい等がある児童生徒のニーズに対応した支援を行う。	1	2	3	4	5
キ) 我が国の伝統文化を尊重し、郷土を愛する心を育てる。	1	2	3	4	5
ク) 暴力行為やいじめ、不登校などの問題に適切に対応し、安心して学ぶことができる体制を整備する。	1	2	3	4	5
ケ) 道徳教育を充実する。	1	2	3	4	5
コ) 児童生徒の体験活動やボランティア活動を推進する。	1	2	3	4	5
サ) 児童生徒に対する性教育を充実する。	1	2	3	4	5
シ) 豊かな自然を守る環境教育を推進する。	1	2	3	4	5
ス) 学校における読書活動を推進する。	1	2	3	4	5

施 策	今後の重要性				
	重 要	ばど 重 ち 要 ら か と 言 え	な ど い ち ら ら と も 言 え	ばど 重 ち 要 ら で か は と な 言 い え	重 要 で は な い
セ) 学校における武道の授業を充実する。	1	2	3	4	5
ソ) 児童生徒に食に関する知識等を習得させ、健全な食生活の実践に結びつける。	1	2	3	4	5
タ) 児童生徒の体力・運動能力を向上させる。	1	2	3	4	5
チ) むし歯の数の減少や肥満の予防など、児童生徒の健康増進に取り組む。	1	2	3	4	5
ツ) 地域の協力を得て、児童生徒の登下校時の安全を確保する。	1	2	3	4	5
テ) 耐震化の推進など、安全で安心できる学校施設の整備を推進する。	1	2	3	4	5
ト) 30人学級編制などの少人数教育を推進する。	1	2	3	4	5
ナ) 障がいのある子どもたちが、障がいのない子どもたちと共に学ぶことができる環境を整備する。	1	2	3	4	5
ニ) 地域の方々に学校評価に参加してもらうなど、開かれた学校づくりを推進する。	1	2	3	4	5
ヌ) 教員の指導力向上のための取組みを推進する。	1	2	3	4	5
ネ) 保護者の学習機会を充実するなど、家庭教育への支援を推進する。	1	2	3	4	5
ノ) 子育てや学校の教育活動を支える地域づくりを支援する。	1	2	3	4	5
ハ) 教育活動の担い手となる地域人材を育成する。	1	2	3	4	5
ヒ) 図書館、美術館、博物館等の社会教育施設等を充実する。	1	2	3	4	5

施 策	今後の重要性				
	重 要	ばど 重 ち 要 ら か と 言 え	な ど い ち ら と も 言 え	ばど 重 ち 要 ら で か は と な 言 い え	重 要 で は な い
フ) 子どもからお年寄りまで、すべての県民に対し学習情報や学習機会を広く提供する。	1	2	3	4	5
ヘ) 本県の文化財の保護と活用を推進する。	1	2	3	4	5
ホ) 優れた文化を鑑賞する機会を増やしたり、地域の文化活動を支援する。	1	2	3	4	5
マ) 伝統文化や合唱などを含め、本県の有する優れた文化を全国に発信する。	1	2	3	4	5
ミ) 総合型地域スポーツクラブ*の設立・育成を支援するなど、誰もが気軽にスポーツに親しむ環境を整備する。	1	2	3	4	5
ム) 優秀なスポーツ選手を育成するための環境を整備する。	1	2	3	4	5
メ) 県内の大学や短大等が行っている高等教育を充実する。	1	2	3	4	5
モ) 高等教育機関と企業やNPO*等との連携を支援する。	1	2	3	4	5
ヤ) 高等教育機関が行う留学生の受け入れなどの国際交流を支援する。	1	2	3	4	5
ユ) 高等学校等と高等教育機関との連携（高大連携）を推進する。	1	2	3	4	5
ヨ) 私立学校への助成金の交付など私立学校への総合的な支援を行う。	1	2	3	4	5

上記以外で、今後、特に取り組んでほしい施策がありましたら下の記入欄にご記入ください。

【記入欄】
